



ぐんぐん

小泉小学校
3年生学年通信
個人懇談号

3学年 夏休みのくらし

7月21日からいよいよ夏休みです。長い休みですので、規則正しい暮らしができるよう、支援をお願いします。学習面では、長い休みをいかして取り組み、7月までの学習の復習を中心に取り組んで欲しいです。また、夏休み直前の「ぐんぐん」もご覧ください。



<夏休みの課題>

一研究・一作品

長い休みにしかやれないことに取り組みましょう。「がんばってできた」という満足感がもてるようにしたいものです。夏休み後の「宝物展」に出品できるように、記録やまとめなど活動の足跡が形に残るように取り組んで下さい。

サマー32 (夏休み問題集)

国語・算数・理科・社会の問題集です。3年生の7月までの復習ができるようになっています。ドリルとは違って、いろいろな問題が復習できるものです。社会は学校で何ページかやり進めます。全部で32ページの冊子ですが、早いうちから計画的に取り組ませて下さい。答えもありますので、答え合わせも並行して進めましょう。お子さんに答え合わせをまかせず、できるだけお子さんと一緒に取り組んで下さい。そして、間違えたところをやり直させることが大切です。付属品の毎日日記は、宿題ではありません。よりよい生活づくりのために利用なさるとよいでしょう。

ドリル

計算・漢字ドリルのつづきを普段どおり進めます。

- ・ 計算ドリル→43ページ2回目まで
- ・ 漢字ドリル→54ページ2回目まで

日記

心に残った出来事を作文にします。2回書きます。

ハウセンカの世話と観察

持ち帰ったハウセンカに水やりをします。花が咲くなど大きな変化があったら観察してカードにかきます。休み前に花が咲いた子は、休み前にかきます。

(裏へ続く)

読書感想文

夏休み中に読んだ本の中で心に残った本の感想を書きます。内容に感動したり自分の体験と重なったりした本でないと感想文はなかなか書けません。市の図書館なども利用してできるだけたくさんの本を読むことによって、感動できる本に出会えるといいですね。また、課題図書は学年に合った内容になっているのでおすすめです。

- * 原稿用紙を4枚持ち帰ります。3枚は書けるといいです。
 - * 感想文の書き方については、夏休み前に指導します。
- 〈課題図書〉

〈生活づくり〉

- * 別紙プリント「夏休みのくらし」には、夏休みを心身共に健康に過ごすくらしのあり方、みんなで守るべききまりがのっています。必ず目を通し、確認して下さい。
 - * 学校のプール開放では、プールカードやプール帽子を忘れると入ることができません。ご注意ください。プールの可否は、小泉小ホームページ上で確認できます。
まだ泳ぐことを怖がる子には、夏休みのうちにたくさん練習をさせてください。今のうちに克服できるように取り組みましょう。水の事故にあった時、命を守るためにも水に慣れさせましょう。
 - * ラジオ体操は、朝の生活のリズムをつくるのに最適です。各通学班で決めた日にちに積極的に参加させましょう。地域で取り組みの日にちが違うのでご注意下さい。
 - * 「歯磨きチェック」が保健室から出る予定です。歯の染め出しを、家族と一緒に行ってください。
 - * 家庭の役割を果たし、家族の一員として自覚がもてるように自分の仕事（お手伝い）をもたせることが大切です。根気よく見届け励まして、決められた仕事ができるときには大いにほめましょう。
 - * PTAの取り組みで一家庭一ボランティアが計画されています。
- ※夏休みの過ごし方は夏休み後の暮らしに大きく影響します。規則正しく計画的に生活をおくれるよう支援をお願いいたします。

くらしの約束については、「夏休みのくらし（別紙プリント）」を見て、きまりを守れるように話してあげてください。

夏休みがんばり表に書きます。日記の下には、学習やお手伝いなどの振り返りを行います。

一行日記

* 毎日の出来事を、一行の記録文にします。

<サマースクールについて>

7月24日（木）・25日（金）の2日間、午前9時30分から午前10時40分まで行います。参加者は3年生以上の希望者です。登下校は班別登校で、人数が少なければ近くの児童と複数で登下校をします。9時30分に間に合うように登校してもらいます。希望者だけでなく、ドリルが期限までに終わらなかった子（※下記）や担任が個別指導をしたい子は、担任から声をかけさせていただきますのでよろしく願いいたします。

※夏休みまでに、漢字ドリルは56まで計算ドリルは42までの、2回目まで終わらせるように伝

えてあります。

*夏休みの一研究・一作品の計画を先週お配りしました。子どもさんと一緒に計画を立てて、7/ 日
()までにご提出ください。毎年、子どもたちは、何にしようか期待をふくらませ、保護者の方は
頭を悩ませることと思いますが、親子のふれあう機会として生かしていただけると充実した作品にな
ります。長い夏休みを生かして、簡単な作品よりも思い出に残るような作品になるとよいと思いま
す。よろしかったら計画書の裏にある研究のすすめや、コンクールの応募作品（別紙）も参考にして
ください。